LaVie

NEC

指紋センサ
ユーザーズガイド

まず、指紋を登録しよう

パソコンの起動を指紋でチェック（指紋ログオン）

ホームページのパスワード入力を指紋で（パスワードバンク）

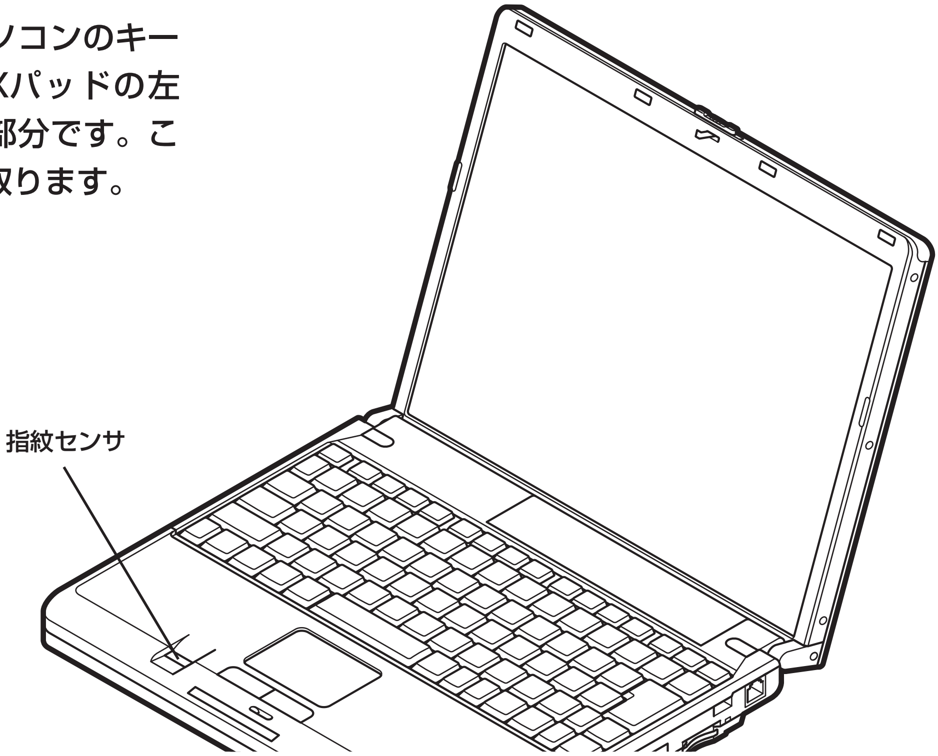
ソフトの起動を指紋で（アプリケーションランチャー）

ファイルやフォルダを暗号化する（File Safe）

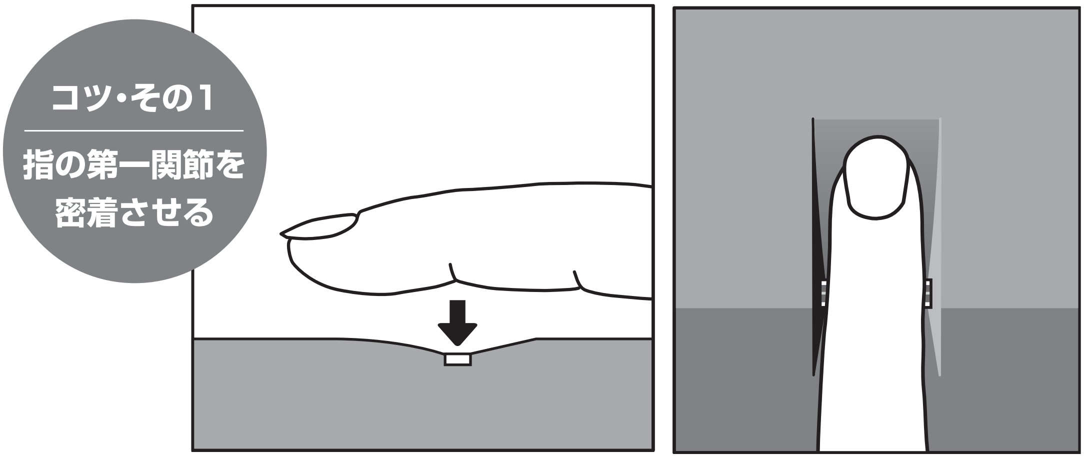
指紋の読み取り方

指紋の読み取りには、いくつかのコツがあります。

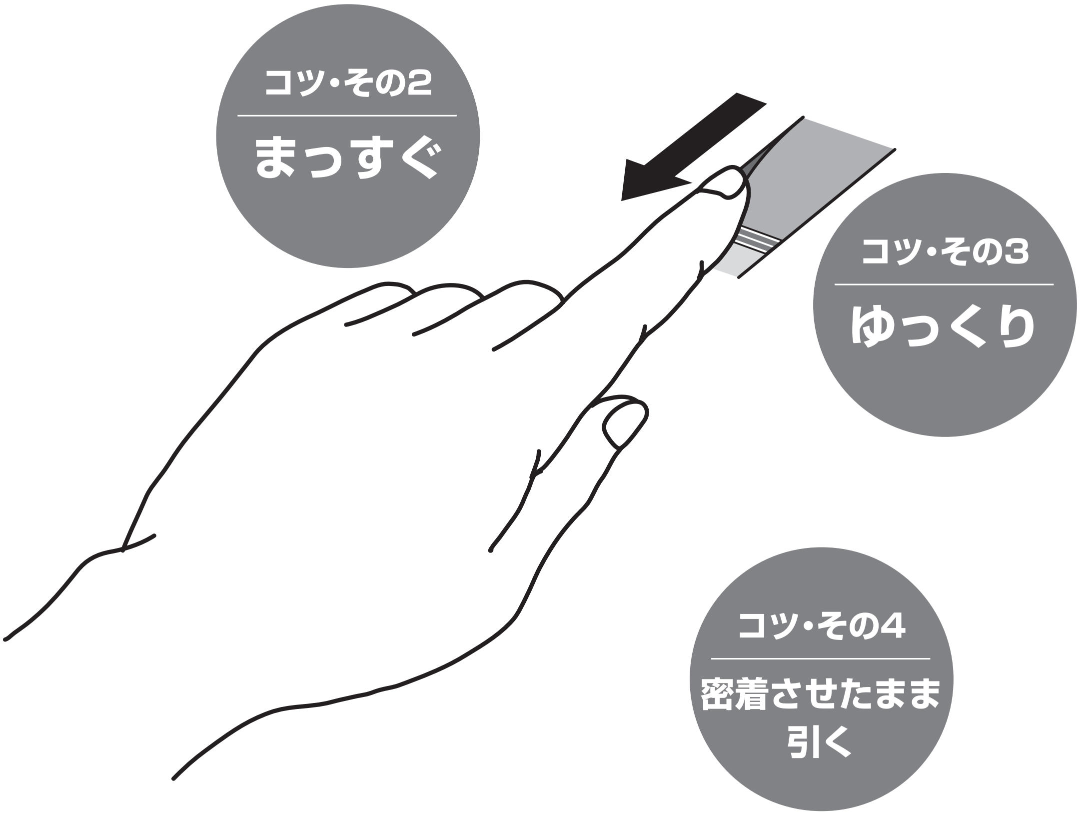
指紋センサはパソコンのキーボードの下、NXパッドの左側の、スリット部分です。ここで指紋を読み取ります。



指紋センサの上に、指の第一関節までを密着させて置きます。



指を密着させたまま、まっすぐ手前に引きます。



滑らせる速度が速すぎたり、斜めに滑らせたり、指が傾いていると、うまく読み取れません。

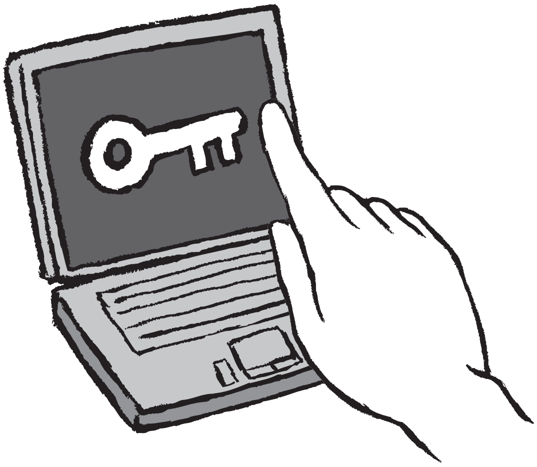
指紋の登録や読み取りなどの操作は、節電のため、約2分間そのままにしておくと、タイムアウトになります。そのときは、再度、最初から操作してください。

853-810601-657-A 2007年 5月 初版

こんなことができます

指紋を読み取って登録しておくと、いろいろなことができます。

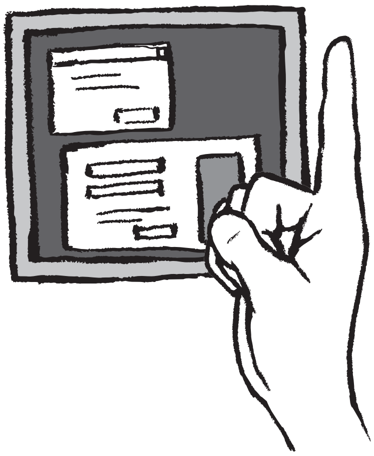
●Windowsのログオン



Windowsログオンで、ユーザー名とパスワードを入力するかわりに、指紋を読み取ってログオンできます。
スクリーンセーバーからの復帰、スリープ状態からの復帰のときも、指紋を読み取って復帰できます。

「パソコンの起動を指紋でチェック（指紋ログオン）」 22ページ

●パスワードの自動入力



ソフトやホームページを起動するためのパスワード入力の画面があるとき、一度その画面を登録すると、次からは指紋を読み取って画面の内容を自動入力できます。

「ホームページのパスワード入力を指紋で（パスワードバンク）」 26ページ

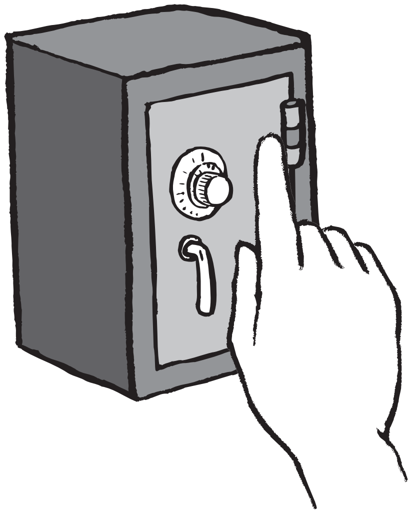
●お気に入りのソフトの起動



登録した指紋とソフトを関連付けしておくと、指紋を読み取ったときに、その指に対応するソフトを起動できます。

「ソフトの起動を指紋で(アプリケーションランチャー)」 30ページ

●機密情報の暗号化



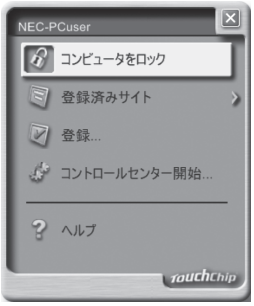
大切な情報の入ったファイルやフォルダを暗号化して鍵をかけたり、指紋を読み取って中身を見たりできます。

「ファイルやフォルダを暗号化する(File Safe/ファイルセーフ)」 34ページ

こんな画面で操作します

指紋認証ソフト「Protector Suite QL」の機能は、おもにこの3つのメニューから実行したり設定します。

●バイオメトリックメニュー



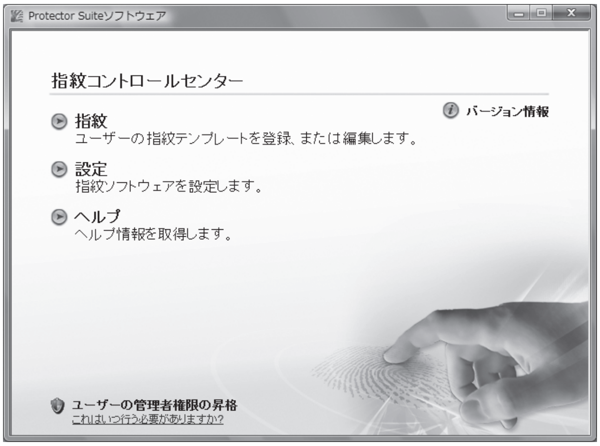
機能を実行するためのメニューです。
登録した指を指紋センサで読み取ると表示されます。
指紋を登録しないと表示できません。

アプリケーションランチャー（30ページ）に登録した指を読み取って表示したいときは、【Shift】キーを押しながら読み取ります。

バイオメトリックメニューのデザインを変えるには

「コントロールセンター開始」をクリックし、「コントロールセンター」画面(下記参照)で「設定」-「ユーザー設定」をクリックし、「メニューの外観」タブをクリックして、デザインを選びます。

●コントロールセンター



指紋の登録や削除、設定などを行います。

コントロールセンターを開くには

●「おすすめメニュー」-「ソフトを探す」（ソフトナビゲーター）-「パソコンの設定」-「指紋認証を登録・設定する」-「ソフトを起動する」の順にクリックする。

●「スタート」-「すべてのプログラム」-「Protector Suite QL」-「コントロールセンター」の順にクリックする。

●バイオメトリックメニューで「コントロールセンター開始」をクリックする。

●通知領域の(Protector Suite QL)を右クリックし、表示されたメニューで「コントロールセンター開始」をクリックする。

●通知領域のアイコンを右クリックして表示するメニュー



……右クリック……>



Protector Suite QLがインストールされている状態で、デスクトップ右下の通知領域に表示されるアイコンを右クリックするとメニューが表示されます。

「センサーを使わない」は、一時的に、指紋センサを使用できなくする機能です。通常は、選択しないでください。

ヘルプを表示するには

上の3つのメニューで「ヘルプ」をクリックすると指紋認証ソフト「Protector Suite QL」のヘルプが表示されます。
他の画面の説明を表示したいときは、その画面を表示した状態で、【F1】キーを押します。

このマニュアルの表記について

◆このマニュアルでは、つぎのように表記しています。

【 】で囲んである文字は、キーボードのキーを指します。

◆本文中の画面やイラストについて

・ 本文中の画面やイラスト、ホームページは、モデルによって異なることがあります。また、実際の画面と異なることがあります。
・ 記載している内容は、このマニュアルの制作時点のものです。お問い合わせ先の窓口、住所、電話番号、ホームページの内容やアドレスなどが変更されている場合があります。あらかじめご了承ください。

◆このマニュアルで使用しているソフトウェア名などの正式名称

（本文中の表記）	（正式名称）
Windows、Windows Vista	Windows Vista™ Home Basic Windows Vista™ Home Premium Windows Vista™ Business Windows Vista™ Ultimate
「スタート」、「スタート」ボタン	Windows Vista™ スタート ボタン

◆ご注意

（1）本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
（2）本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
（3）本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、NEC 121 コンタクトセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本はお取り替えいたします。
（4）当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、（3）項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。特に、指紋認証技術は100%完全に本人の指紋登録、認証、照合を保証するものではありません。指紋センサを使用したこと、使用できなかったことにより生じるいかなる損害に関しても、当社は一切責任を負いかねますので、予めご了承ください。
（5）本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
（6）海外における保守・修理対応は、海外保証サービス[NEC UltraCareSM International Service]対象機種に限り、当社の定める地域・サービス拠点にてハードウェアの保守サービスを行います。サービスの詳細や対象機種については、以下のホームページをご覧ください。
（7）本機の内蔵ハードディスクにインストールされているWindows Vista™ Home Basic、Windows Vista™ Home Premium、Windows Vista™ Business またはWindows Vista™ Ultimate および本機に添付のCD-ROM、DVD-ROM は、本機のみでご使用ください。
（8）ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。

この製品には、OpenSSL Toolkit（http://www.openssl.org/）で使用することを目的に OpenSSL Project によって開発されたソフトウェアが組み込まれています。
この製品には Eric Young 氏（eay@cryptsoft.com）が開発した暗号ソフトウェアが組み込まれています。

もくじ

指紋の読み取り方……… 2
こんなことができます……… 4
こんな画面で操作します……… 6
このマニュアルの表記について……… 7

もくじ……… 8

まず、指紋を登録しよう 指紋パスポートを作る……… **10**
●ソフトウェアをインストールする……… 10
●指紋を登録する……… 11
●登録した指紋を削除する、指紋を追加登録する……… 19
●登録(指紋パスポート)を削除する……… 19
●登録(指紋パスポート)をファイルに書き出す(エクスポート)……… 20
●登録(指紋パスポート)ファイルを読み込む(インポート)……… 21

パソコンの起動を指紋でチェック(指紋ログオン)……… **22**
●指紋でパソコンやWindowsの起動をチェックする……… 22
●指紋でWindowsを起動できないように設定する……… 23
●電源を入れてすぐ指紋を確認するようにする(パワーオンセキュリティ)……… 24
●パワーオンセキュリティを有効にする/無効にする……… 24
●パワーオンセキュリティで指紋の読み取りを1回ですますように設定する……… 25
●パソコンをロックする……… 25

ホームページのパスワード入力を指紋で(パスワードバンク)……… **26**
●ログイン画面を表示してから自動入力する……… 26
●ログインする画面をメニューで選んで、自動入力する……… 27
●指紋でユーザー名やパスワードを自動入力できるように設定する……… 28
●登録を取り消す、変える、他のパソコンにコピーする……… 28
●ヒント(メッセージ)を表示するかどうかを設定する……… 29

ソフトの起動を指紋で(アプリケーションランチャー)……… **30**
●指紋を読み取って、ソフトを起動する……… 30
●どの指紋でどのソフトを起動するかを登録する……… 31
●どの指紋でどのソフトを起動するかを変える……… 33
●指紋でソフトが起動しないようにする(組み合わせを削除する)……… 33

ファイルやフォルダを暗号化する(File Safe/ファイルセーフ)…… **34**
●新しい暗号化アーカイブを作ってファイルやフォルダを格納する …… 34
●既存の暗号化アーカイブにファイルやフォルダを追加する …… 37
●暗号化アーカイブのロック(施錠)を解除する …… 38
●暗号化アーカイブをロック(施錠)する …… 38
●すべての暗号化アーカイブをロック(施錠)する …… 38
●暗号化されたファイルやフォルダを普通のファイルやフォルダにもどす …… 39
●暗号化アーカイブのパスワードを変える、他のユーザーのアクセスを許可する・拒否する …… 40
●グローバルバックアップパスワードを設定する、変える …… 41

設定を変える…… **42**
●管理者を登録する、管理者と他のユーザーの権限を変える(セキュリティモード) … 42
●指紋読み取り失敗時のロックや精度の設定 …… 44
●TPM管理ソフトをインストールし、TPMが使えるようにする…… 45
●効果音を変える …… 47
●指紋デバイス内のデータを削除する …… 48
●Protector Suite QLを削除(アンインストール)する …… 48

指紋センサのお手入れ…… **49**

困ったときは…… **50**

索引…… 54

まず、指紋を登録しよう
指紋パスポートを作る

指紋を登録すると、パスワード入力のかわりに指紋読み取りでパソコンを起動できるようになります。

指紋認証ソフト「Protector Suite QL」をインストールし、Windowsのユーザー名やパスワードと、指紋（暗号化したもの）などのセキュリティ情報を「指紋パスポート」として登録します。
登録後は、ユーザー名とパスワードを入力するかわりに、指紋の読み取りでユーザー認証できるようになります。

●ソフトウェアをインストールする

まず、Protector Suite QLをインストールします。

1 **「おすすめメニュー」-「ソフトを探す」（ソフトナビゲーター）-「パソコンの設定」-「指紋認証を登録・設定する」の順にクリックし、「Protector Suite QL」の「インストールして起動」をクリックする。**



画面の指示にしたがって操作してください。
「Protector Suite QL」と「レジストリエディタ」について「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら「続行」をクリックしてください。
インストールが完了すると、再起動するかどうかを選ぶ画面が表示されます。
「はい」をクリックしてください。
パソコンが再起動します。

指紋パスポート
指紋やユーザー名を登録したデータを指紋パスポートと呼びます。指紋パスポートは、ひとつのWindowsユーザーにひとつだけ作れます。

Protector Suite QLをインストールするためには、ハードディスクに、およそ50MBの空きが必要です。

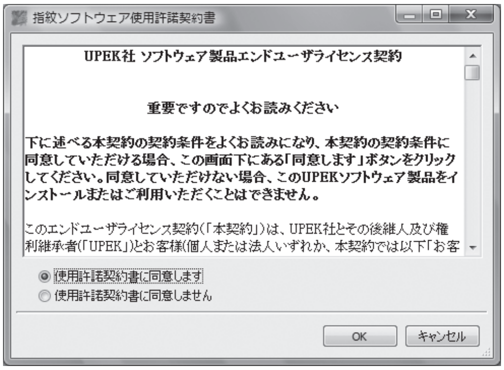
インストールは、必ず、パソコンの管理者権限のあるユーザーが行ってください。

インストール後には、必ずパソコンを再起動してください。

●指紋を登録する

1 **「スタート」-「すべてのプログラム」-「Protector Suite QL」-「ユーザー登録」をクリックする。**

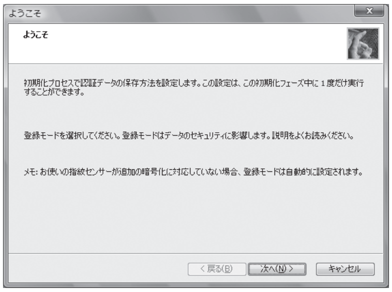
「指紋ソフトウェア使用許諾契約書」画面が表示されます。



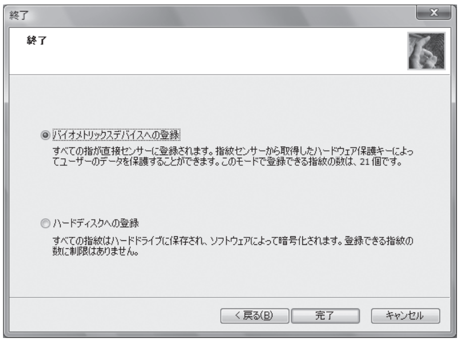
2 **使用許諾契約書を読んで、同意する場合は、「使用許諾契約書に同意します」をクリックし、「OK」をクリックする。**

(同意しない場合は、指紋認証ソフト「Protector Suite QL」を使うことはできません。「キャンセル」をクリックして、指紋登録の操作を終了させてください)

「ようこそ」画面が表示されます。



3 **「次へ」をクリックする。**



次の手順でも起動できます。

●デスクトップ右下の通知領域の (Protector Suite QL) を右クリックし、表示されたメニューの「指紋の編集」をクリックする。

●「コントロールセンター」を起動し(6ページ)、「指紋」-「初期化」をクリックする。(すでに指紋が登録されているときは、「初期化」ではなく「指紋の登録、または編集」と表示されます)

指紋の登録や読み取りなどの操作は、節電のため、約2分間そのままにしておくと、タイムアウトになります。そのときは、再度、最初から操作してください。

4 **「バイオメトリックスデバイスへの登録」か「ハードディスクへの登録」をクリックして選び、「完了」をクリックする。**

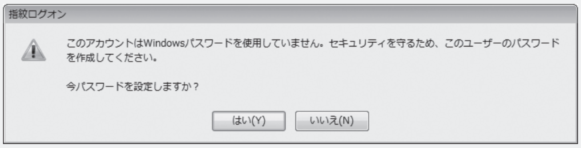
バイオメトリックスデバイスへの登録……指紋センサ用の内部デバイスに指紋データを登録します。「ハードディスクへの登録」の場合より高度なセキュリティを設定できます。セキュリティを重視する場合は、こちらを選択してください。ただし、指紋は、21個までしか登録できません。

ハードディスクへの登録……パソコンのハードディスクに指紋データを登録します。登録できる指紋の数に制限はありません。より多くの指紋登録による利便性を重視する場合は、こちらを選択してください。(ただし、パワーオンセキュリティに使用できる指紋は21個までです)

重要! **この設定は、後で変更できません。**

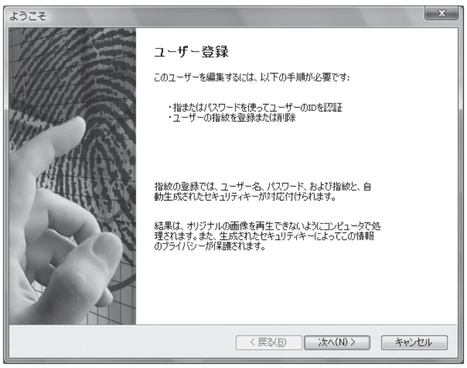
この後は、「バイオメトリックスデバイスへの登録」を選んだ場合の操作を中心に説明します。

Windowsのパスワードが設定されていないときは、「今、パスワードを設定しますか?」と表示されます。



「はい」をクリックし、「パスワード」と「パスワード再入力」の2か所の入力欄に同じパスワードを入力し、「OK」をクリックしてください。

「ユーザー登録」画面が表示されます。



5 **「次へ」をクリックする。**

「ユーザーのパスポート」画面が表示されます。

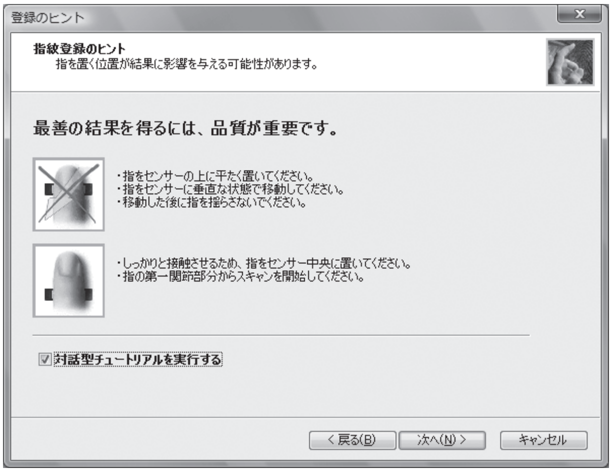
どちらを選択した場合でも、TPMを設定することでセキュリティを高めることができます。

TPM
(Trusted Platform Module)
パソコンに内蔵するセキュリティチップ。暗号キーなどを安全に格納できる。

パワーオンセキュリティ
パソコンの電源を入れてすぐに指紋の読み込みかパスワードの入力を行わないとパソコンが起動しないようにすることができます。(24ページ)

6 Windowsのパスワードを入力して、「次へ」をクリックする。

「登録のヒント」画面が表示されます。



7 「次へ」をクリックする。

「正しい読み取り手順」画面が表示されます。
指紋の読み取り方が説明されるのでご覧ください。



指紋チュートリアル（対話型チュートリアル）

7～9の画面を指紋チュートリアルといいます。指紋の読み取り方を説明します。読み取りの練習もできます。

「対話型チュートリアルを実行する」の☑を☐にすると、この説明や練習を省略して10の操作へ進めますが、初めてのときは省略しないことをお勧めします。

指紋チュートリアルは、単独でも見ることができます。

●コントロールセンター（6ページ）で「ヘルプ」-「チュートリアル」をクリックする。

●「スタート」-「すべてのプログラム」-「Protector Suite QL」-「指紋チュートリアル」をクリックする。

もう一度見たいときは、「ビデオ再生」をクリックします。

8 **「次へ」をクリックする。**

「スキャンの練習」画面が表示されます。



9 **指紋センサで指を読み取る。**

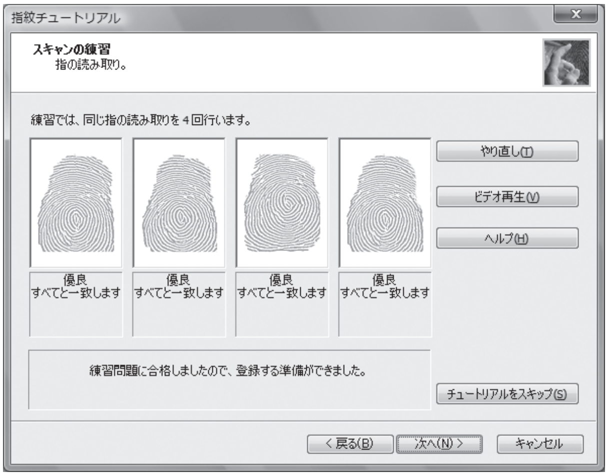
指紋センサに指の第一関節を密着させます。指が水平に保たれるように、密着させたまま、手前に引きます。

指紋が画面に表示されます。



読み取りを4回繰り返します。

4回分の指紋が一致すると合格です。
合格しなかったときは、「やり直し」をクリックして、指の読み取りをやり直してください。



10 練習に合格したら「次へ」をクリックする。

「ユーザーの指紋」画面が表示されます。



11 登録する指の上の□をクリックする。

「指の読み取り」画面が表示されます。



12 指紋センサで同じ指を3回読み取る。

指紋センサに指の第一関節を密着させます。指が水平に保たれるように、密着させたまま、手前に引きます。
うまく読み取れると、画面上部に指紋が表示されます。
3回ともうまく読み取れると「成功」と表示されます。



3回分の指紋が統合されて、1つの指紋として指紋パスポートに登録されます。

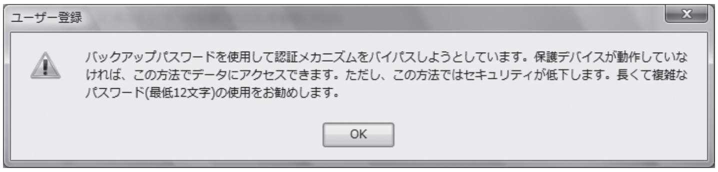
13 他の指を読み取る。

11～12の操作を繰り返して他の指を読み取ります。
指をけがして、指紋の読み取りができないときなどのために、2本以上の指の指紋を登録しておくことをおすすめします。

ひとりのユーザーの指紋を10個まで登録できます。

14 「次へ」をクリックする。

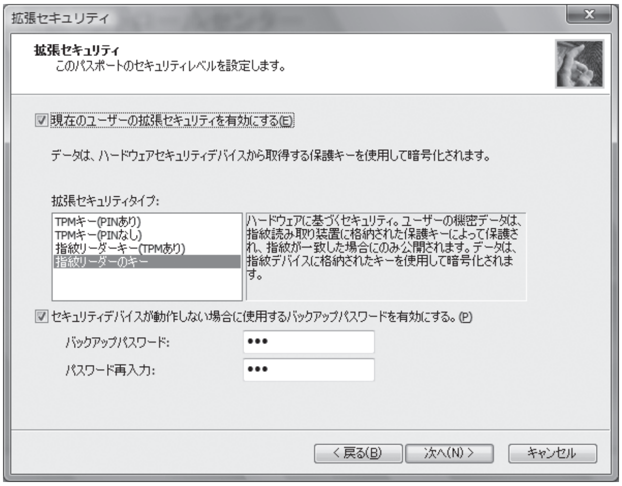
「ユーザー登録」画面が表示されます。



4の操作で「ハードディスクへの登録」を選び、TPMを設定していない場合は、14～16の操作はありません。

15 「OK」をクリックする。

「拡張セキュリティ」画面が表示されます。



16 拡張セキュリティの設定をする。

現在のユーザーの拡張セキュリティを有効にする……☑のままにすると､暗号化による高度なセキュリティのタイプを選べる（あまり高度なセキュリティを必要としない場合は、□にして、18の操作へ進んでください）

拡張セキュリティタイプ……必要なセキュリティレベルにあわせて選ぶ

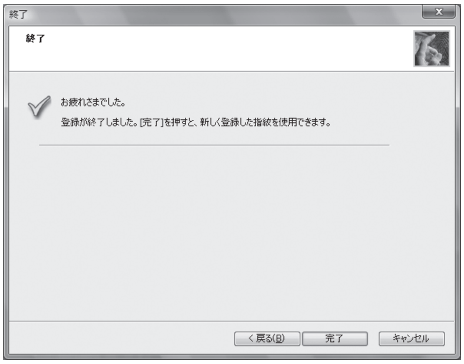
17 「バックアップパスワード」と「パスワード再入力」の2か所に同じパスワードを入力する。

これは、Protector Suite QLが指紋読み取りのかわりに使うパスワードです。Windowsのパスワードとは別のものです。

このパスワードは、ハードウェアが故障した場合など、指紋認証を省略したいときに使用するので、拡張セキュリティを使用する場合は、設定してください。

18 「次へ」をクリックする。

「終了」画面が表示されます。



拡張セキュリティタイプには、次の4つがあります。4の操作で「バイオメトリックデバイスへの登録」を選択した場合は、指紋リーダーキーに関する項目を選択できます。また、TPM（45ページ）を設定した場合は、TPMに関する項目を選択できます。

指紋リーダーキー（TPM あり）
専用のハードウェアを使う、高度なセキュリティ方式です。TPMセキュリティチップと指紋読み取り装置の通信チャネルを暗号化することによって、機密データのセキュリティをさらに高めます。最高のセキュリティを必要とする場合にお勧めします。

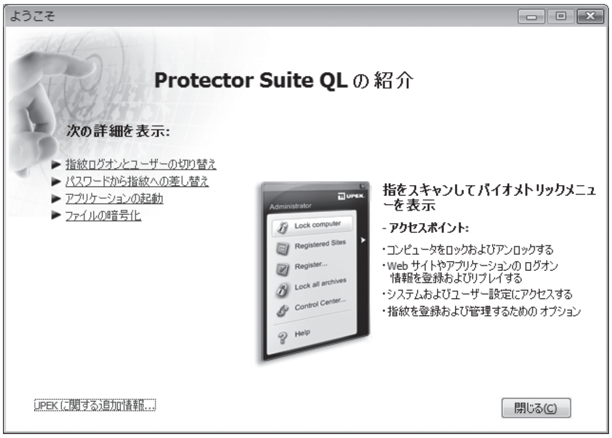
指紋リーダーのキー
専用のハードウェアを使うセキュリティ方式です。指紋読み取り装置に保存されている保護キー(暗号キー)を使って機密データを暗号化します。指紋が一致しなければ復号できません。

TPMキー(PINあり)
ユーザーの暗号化データは、TPMセキュリティチップによって PIN付きで保護されます。PIN は ID認証のたびに入力する必要があります。

TPMキー(PIN なし)
ユーザーの暗号化データは、TPMセキュリティチップによって保護されます。使いやすさを優先する場合にお勧めします。

19 **「完了」をクリックする。**

「Protector Suite QLの紹介」画面が表示されます。



20 **「閉じる」をクリックする。**

登録を終えたら、バックアップのために、登録した指紋（指紋パスポート）をファイルにエクスポート（20ページ）しておくことをお勧めします。

指紋をパソコン起動時のチェックだけに使うときは、これで操作は終わりです。
パソコンの起動のチェックについてくわしくは

「パソコンの起動を指紋でチェック（指紋ログオン）」 22ページ

指紋を他にも応用したいときは、次の操作に進んでください。

●電源を入れてすぐ指紋を確認するようしたいとき（パワーオンセキュリティ）

「パソコンの起動を指紋でチェック（指紋ログオン）」 22ページ

●指紋読み取りでホームページのパスワード入力ができるようにしたいとき

「ホームページのパスワード入力を指紋で（パスワードバンク）」 26ページ

●指紋でソフトを起動できるようにしたいとき

「ソフトの起動を指紋で（アプリケーションランチャー）」 30ページ

●ファイルやフォルダを暗号化したいとき

「ファイルやフォルダを暗号化する（File Safe/ファイルセーフ）」 34ページ

●登録した指紋を削除する、指紋を追加登録する

1 **「スタート」-「すべてのプログラム」-「Protector Suite QL」-「コントロールセンター」の順にクリックする。**
コントロールセンターが表示されます。

コントロールセンターは、他の方法でも開けます→6ページ

2 **「指紋」-「指紋の登録または編集」を選ぶ。**
「ユーザー登録」画面が表示されます。

3 **「次へ」をクリックする。**
「パスワード」画面が表示されます。

4 **指紋センサで指を読み取る。**
「登録のヒント」画面が表示されます。

Windowsパスワードでも認証できます。ただし、拡張セキュリティを設定している場合は、Windowsパスワードではなく、拡張セキュリティのバックアップパスワードを入力してください。

5 **「次へ」をクリックする。**
指紋をハードディスクに登録し、「パワーオンセキュリティ」を設定しているときは、パワーオンセキュリティに対応する指についての指示が表示される場合があります。

6 **追加・削除する指の上のをクリックする。**

7 **追加するときは、指紋センサで3回指を読み取る。**
削除するときは、「はい」をクリックする。

8 **「次へ」をクリックする。**
「拡張セキュリティ」を設定しているときは、「拡張セキュリティ」画面が表示されるので、「次へ」をクリックします。
「終了」画面が表示されます。

9 **「完了」をクリックする。**

●登録(指紋パスポート)を削除する

1 **「スタート」-「すべてのプログラム」-「Protector Suite QL」-「コントロールセンター」の順にクリックする。**
コントロールセンターが表示されます。

コントロールセンターは、他の方法でも開けます→6ページ

2 **「指紋」-「削除」をクリックする。**
「指の読み取り」画面が表示されます。

3 **指紋センサで指を読み取る。**
「ユーザー○○○○のパスポートを本当に削除しますか?」と表示されます。

4 **「はい」をクリックする。**

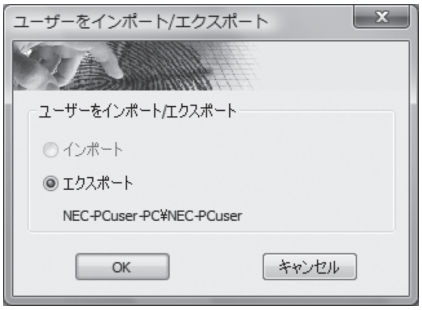
●登録(指紋パスポート)をファイルに書き出す(エクスポート)

指紋パスポート(指紋のデータ)は、ファイル(拡張子は「.vtp」)にエクスポート(書き出し)できます。バックアップとして、ファイルにエクスポートして保存しておくことをお勧めします。
エクスポートしたファイルは、インポートで読み込みます。

1 **「スタート」-「すべてのプログラム」-「Protector Suite QL」-「コントロールセンター」の順にクリックする。**
コントロールセンターが表示されます。

コントロールセンターは、他の方法でも開けます→6ページ

2 **「指紋」-「ユーザーデータのインポートまたはエクスポート」をクリックする。**



「エクスポート」が選ばれています。保護モード(43ページ)では既存の一覧が表示されるので、エクスポートするファイルを選びます。

3 **「OK」をクリックする**
「名前を付けて保存」画面が表示されます。

4 **ファイル名とファイルを保存する場所を指定して「保存」をクリックする。**
「パスワード入力」画面が表示されます。

5 **インポートするときに使うパスワードを考えて、「パスワード」と「パスワード再入力」に入力する。**
2か所に同じパスワードを入力してください。
「指の読み取り」画面が表示されます。

6 **指紋センサで指を読み取る。**
「ユーザーが正常にエクスポートされました。」と表示されます。

7 **「OK」をクリックする。**

●登録(指紋パスポート)ファイルを読み込む (インポート)

エクスポートしたファイルを、インポート(読み込み)で読み込みます。エクスポートするときに設定したパスワードを、インポートするときに入力してください。すでにパスポートが存在するときはインポートできないので、あらかじめパスポートを削除しておきます。

1 「スタート」-「すべてのプログラム」-「Protector Suite QL」-「コントロールセンター」をクリックする。

コントロールセンターが表示されます。

コントロールセンターは、他の方法でも開けます→6ページ

2 「指紋」-「ユーザーデータのインポートまたはエクスポート」をクリックする。

「ユーザーをインポート/エクスポート」画面が表示されます。「インポート」が選ばれています。

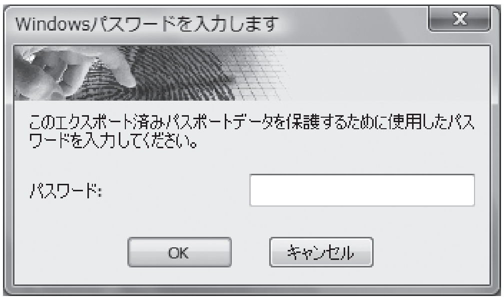


3 「OK」をクリックする。

「ファイルを開く」画面が表示されます。

4 エクスポートした指紋パスポートのファイルを指定して、「開く」をクリックする。

「Windowsパスワードを入力します」画面が表示されます。



5 エクスポートしたときに設定したパスワードを入力して「OK」をクリックする。

「ユーザーが正常にインポートされました」と表示されます。

6 「OK」をクリックする。

パソコンの起動を指紋でチェック
(指紋ログオン)

Windowsやパソコンを起動するとき、パスワード入力の代わりに、指を読み取るだけでログオンできます。

指紋を登録すると、Windowsを起動するときや、パソコンを起動するとき、ユーザー名やパスワードを入力する代わりに、指紋センサで指を読み取るだけでログオンできるようになります。

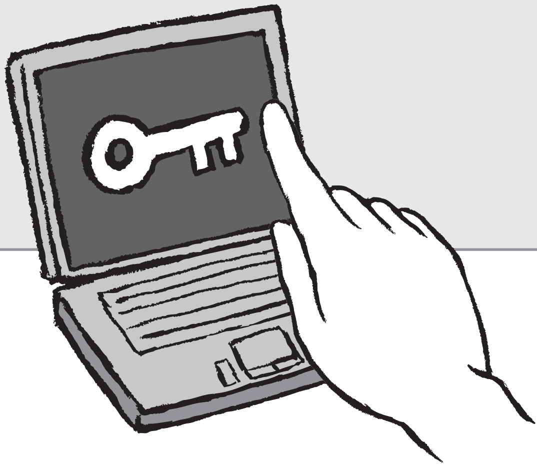
「まず、指紋を登録しよう」(10ページ)にしたがって指紋を登録すると次の操作ができるようになります。

●指紋でパソコンやWindowsの起動をチェックする

スクリーンセーバーや、スリープ状態からの復帰にパスワード認証が必要なときも、指紋で認証できます。

1 **パソコンの電源を入れる。**
Windowsのログオン画面が表示されます。

2 **指紋センサで指を読み取る。**
Windowsにログオンできます。



指紋でユーザーを切り替える
ひとりのユーザーがログオンしているときに、他のユーザーが指紋センサで指を読み取ると、そのユーザーのログオン画面に切り替わります。

電源を入れてすぐ指紋を確認するようにする
(パワーオンセキュリティ)
BIOSの起動の段階で指紋の確認を行うことで、利便性を保ちつつ、高度なセキュリティ管理が実現できます。(24ページ)

●指紋でWindowsを起動できないように設定する

指紋を読み取るだけでログオンできる設定を解除して、パスワードでしかログオンできないようにしたいときは、つぎのように操作します。

1 「スタート」-「すべてのプログラム」-「Protector Suite QL」-「コントロールセンター」の順にクリックする。
コントロールセンターが表示されます。

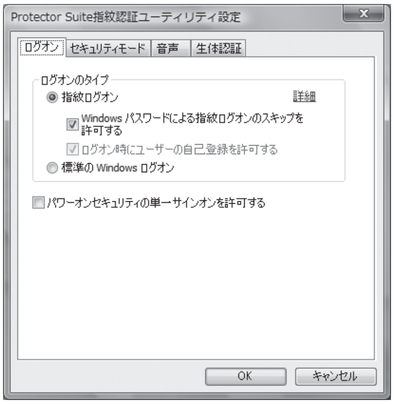
コントロールセンターは、他の方法でも開けます→6ページ

2 「ユーザーの管理者権限の昇格」をクリックする。
「ユーザーアカウント制御」画面が表示されます。

3 「続行」をクリックする。

4 「設定」-「システム設定」をクリックする。

5 「ログオン」タブをクリックする。



6 「標準のWindowsログオン」を◉にする。
指紋の読み取りでは、Windowsの起動・ログオンができなくなります。

「指紋ログオン」を◉にすると、パスワード入力の代わりに指紋の読み取りでもWindowsを起動・ログオンできるようになります。
次の設定を選んでください。

Windowsパスワードによるログオンのスキップを許可する
オフにすると、WindowsのパスワードでWindowsのログオンができるのは管理者のみになります。

ログオン時にユーザーの自己登録を許可する
まだ指紋登録していないユーザーがログオンするとき、その場で指紋を登録してログオンできます。

7 「OK」をクリックし、パソコンを再起動する。

●電源を入れてすぐ指紋を確認するようにする（パワーオンセキュリティ）

パソコンの電源を入れてすぐに指紋の確認をするように設定できます。BIOSの起動の段階で指紋の確認をすることで、利便性を保ちつつ、高度なセキュリティ管理が実現できます。

1 **パソコンの電源を入れ、「NEC」のロゴが表示されたら【F2】キーを数回押す。**
BIOSセットアップユーティリティのメイン画面が表示されます。

BIOSセットアップユーティリティが表示されないときは、電源を入れなおして【F2】キーを押す間隔を変えてください。

2 **【→】キーを、セキュリティのタブを開くまで押す。**

3 **スーパバイザパスワード、ユーザパスワードを設定する。**

スーパバイザパスワードの設定については、「パソコン各部の説明」をご覧ください。
（「おすすめメニュー」-「電子マニュアル（サポートナビゲーター）」-「使いこなす」-「パソコン各部の説明」-「パソコンの機能」-「BIOSセットアップユーティリティ」-「パスワードの設定と入力」）

4 **「起動時のパスワード:」を「使用しない」から「使用する」に変える。**

5 **【F10】キーを押す。**
「セットアップ確認」画面が表示されます。

6 **「はい」を選んで、【Enter】キーを押す。**
パワーオンセキュリティが有効になり、次にパソコンの電源を入れるときは、電源を入れるとすぐに指紋の読み取りが行われるようになります。
すでに指紋を登録しているときは、「指の読み取り」画面が表示されます。
【Esc】キーを押して、パスワード入力に切り替えることもできます。

まだ指紋を登録していないときは、登録してください（10ページ）。

●パワーオンセキュリティを有効にする／無効にする

パソコンの電源を入れてすぐに行うチェック（パワーオンセキュリティ）を指紋ではできないように設定したり、できるように設定することができます。

1 **「スタート」-「すべてのプログラム」-「Protector Suite QL」-「コントロールセンター」の順にクリックする。**
コントロールセンターが表示されます。

コントロールセンターは、他の方法でも開けます→6ページ

2 **「設定」-「パワーオンセキュリティ」をクリックする。**

3 **パワーオンセキュリティを有効にするときは、「指紋によるパワーオンセキュリティを有効にする」を☑にする。オフにするときは☐にする。**

●パワーオンセキュリティで　指紋の読み取りを1回ですますように設定する

この設定をすると、電源を入れてすぐに指紋センサで指を読み取ると、Windows起動時には指紋読み取りやパスワード入力をする必要がなくなります。

電源を入れてすぐに、指紋読み取りではなく、スーパバイザパスワードやユーザパスワードを入力してパソコンを起動したときは、Windowsの起動時に指紋読み取りかパスワード入力が必要です。

1 「スタート」-「すべてのプログラム」-「Protector Suite QL」-「コントロールセンター」の順にクリックする。
コントロールセンターが表示されます。

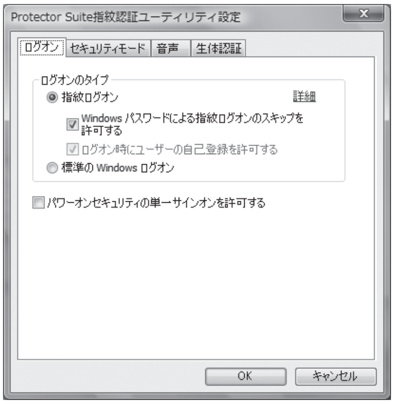
コントロールセンターは、他の方法でも開けます→6ページ

2 「ユーザーの管理者権限の昇格」をクリックする。
「ユーザーアカウント制御」画面が表示されます。

3 「続行」をクリックする。

4 「設定」-「システム設定」をクリックする。

5 「ログオン」タブをクリックする。



6 「パワーオンセキュリティの単一サインオンを許可する」を☑にする。

7 「OK」をクリックし、パソコンを再起動する。

●パソコンをロックする

パソコンをロックするときは次のように操作します。

1 指紋センサで指を読み取って、表示されたメニューで「コンピュータをロック」をクリックする。

1の操作でアプリケーションランチャー（30ページ）に登録した指を読み取ってメニューを表示するときは、【Shift】キーを押しながら読み取ります。

ロックしたパソコンは、指紋を読み取るとロックを解除できます。

ホームページのパスワード入力を指紋で
（パスワードバンク）

ホームページやソフトのログイン画面でのユーザー名やパスワードの入力を自動化する機能です。

ホームページやソフトのユーザー名やパスワードを入力する画面（ログイン画面）で、ユーザー名やパスワードを登録しておいて、次回、その画面への入力を、指紋を読み取って自動入力(リプレイ)する機能です。

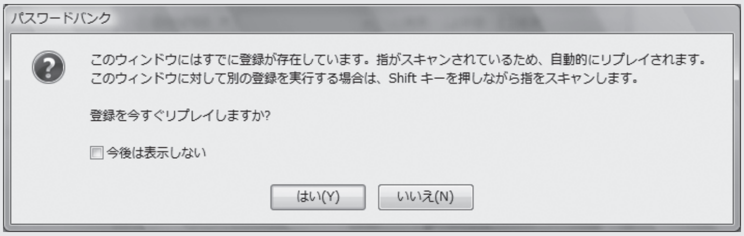
「指紋でユーザー名やパスワードを自動入力できるように設定する」（28ページ）の操作を行うと次の操作ができるようになります。

●ログイン画面を表示してから自動入力する

1 **自動入力したい画面(ログイン画面)を表示する。**

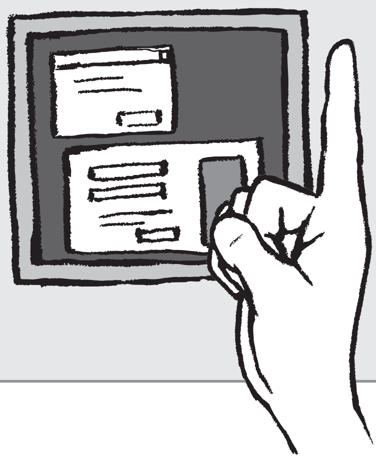
2 **指紋センサで指を読み取る。**

「登録がリプレイされる場合に通知する」（29ページ）が☑になっているときは、メッセージ(ヒント)が表示されるので、「はい」をクリックします。



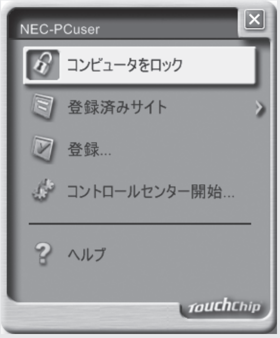
登録されている内容が自動入力されます。

画面に複数のログインフォームがあるとき
選ばれているフォームの内容が自動入力されます。
どのフォームも選ばれていないときは、その画面で登録されているフォームの一覧が表示されるので、その中から選んでください。



●ログインする画面をメニューで選んで、自動入力する

1 **指紋センサで指を読み取る。**
バイオメトリックメニューが表示されます。



2 **「登録済みサイト」をクリックする。**
登録されている画面の一覧が表示されます。



3 **一覧の、ログインしたい画面をクリックする。**
画面が開き、登録されている内容が自動入力されます。

アプリケーションランチャー（30ページ）に登録した指を読み取ってバイオメトリックメニューを表示するときは、【Shift】キーを押しながら読み取ります。

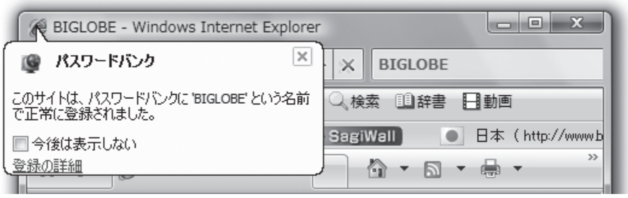
●指紋でユーザー名やパスワードを自動入力できるように設定する

1 **登録したいホームページやソフトのログイン画面を開く。**

2 **ユーザー名やパスワードなどを入力欄に入力する。**

3 **指紋センサで指を読み取り、表示されたメニューで「登録」をクリックする。**
画面の端に、登録確認のメッセージが表示され、入力内容が登録されます。

アプリケーションランチャーに登録した指以外の指を読み取ってください。



画面に複数のログインフォームがあるとき
選ばれているフォームの内容だけが登録されます。
どのフォームも選ばれていないときは、登録するフォームを選ぶようにメッセージが表示されるので、フォームを選んでください。
2つ目以降のログインフォームを登録するときは、【Shift】キーを押しながら指紋センサで指を読み取って、表示されたメニューで「登録」をクリックします（そのまま読み取ると、登録されている内容が自動入力されます）。

●登録を取り消す、変える、他のパソコンにコピーする

1 **「スタート」-「すべてのプログラム」-「Protector Suite QL」-「コントロールセンター」の順にクリックする。**
コントロールセンターが表示されます。

コントロールセンターは、他の方法でも開けます→6ページ

2 **「設定」-「ユーザー設定」をクリックする。**
「指の読み取り」画面が表示されます。

3 **指紋センサで指を読み取る。**
「ユーザー設定」画面が表示されます。

4 **「登録」タブをクリックする。**
登録されている画面のリストが表示されます。



5 「登録済みサイト」欄で画面をクリックし、作業のボタンをクリックする。

名前変更……バイオトリックメニューの「登録済みサイト」の一覧に表示される名前を変更する
削除……登録を取り消す
変更……登録したユーザー名やパスワードなどの内容を変える。自動入力する前に確認をするかどうかを設定する
エクスポート……すべての登録内容をファイルに書き出す
インポート……登録内容をファイルから読み込む

6 「OK」をクリックする。

●ヒント(メッセージ)を表示するかどうかを設定する

1 「スタート」-「すべてのプログラム」-「Protector Suite QL」-「コントロールセンター」の順にクリックする。

コントロールセンターが表示されます。

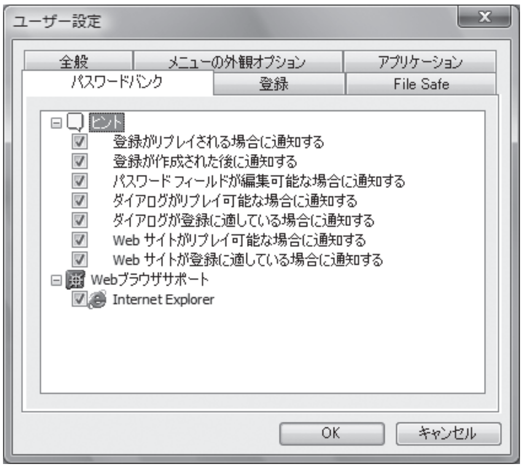
2 「設定」-「ユーザー設定」をクリックする。

「指の読み取り」画面が表示されます。

3 指紋センサで指を読み取る。

「ユーザー設定」画面が表示されます。

4 「パスワードバンク」タブをクリックする。



5 ヒントを表示したい項目を☑にする。

6 「OK」をクリックする。

エクスポートとインポート
登録したユーザーIDやパスワードの自動入力を他のパソコンでも使いたいときは、エクスポートとインポートを使います。
エクスポートをおこなうと、すべての登録した内容をファイル(拡張子は「.pb」)に書き出せます。一部の登録だけをエクスポートしたいときは、【Ctrl】キーか【Shift】キーを押しながら選んでください。そのファイルを他のパソコンにコピーして、コピー先のパソコンでインポートの操作をして読み込みます。エクスポートするときに設定したパスワードを、インポートするときに入力してください。

コントロールセンターは、他の方法でも開けます→6ページ

「Webブラウザサポート」では、ブラウザごとにパスワードバンクを有効にするかどうかを設定できます。

ソフトの起動を指紋で
(アプリケーションランチャー)

指紋を指紋センサーで読み取ると、その指に対応したソフトを起動する機能です。

「どの指紋でどのソフトを起動するかを登録する」(31ページ)の操作を行うと次の操作ができるようになります。

●指紋を読み取って、ソフトを起動する

パソコンが起動した状態で、つぎのように操作します。

1 **指紋センサーで、起動したいソフトに関連付けた指の指紋を読み取る。**
ソフトが起動する。

バイオメトリックメニューを表示するときは、【Shift】キーを押しながら指を読み取ります。



登録した指紋を、すべて、アプリケーションランチャーで使う(ソフトを起動する指紋に指定する)ことはできません。
アプリケーションランチャーで使う指紋以外に必ず1つ以上の指紋を登録しておく必要があります。
アプリケーションランチャーの登録を行う前に、2つ以上の指紋を登録してください。

●どの指紋でどのソフトを起動するかを登録する

1 「スタート」-「すべてのプログラム」-「Protector Suite QL」-「コントロールセンター」の順にクリックする。
コントロールセンターが表示されます。

コントロールセンターは、他の方法でも開けます→6ページ

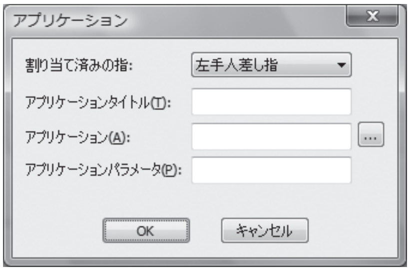
2 「設定」-「ユーザー設定」をクリックする。
「指の読み取り」画面が表示されます。

3 指紋センサで指を読み取る。
「ユーザー設定」画面が表示されます。

4 「アプリケーション」タブをクリックする。



5 「追加」ボタンをクリックする。
「アプリケーション」画面が表示されます。



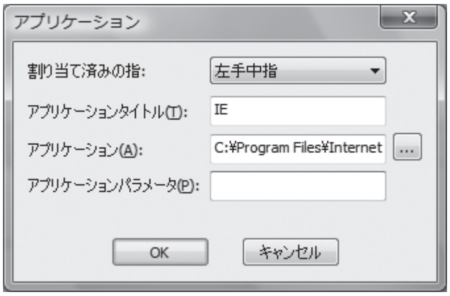
6 「割り当て済みの指」で、登録してある指のうち、まだソフトに関連付けしていないものを選ぶ。
（ソフトに関連付けできる指がないときは、指紋を登録するように求める画面が表示されるので、指紋を登録（19ページ）してください）

7 **「アプリケーションタイトル」に、ソフト名を入力する。**
あとでわかりやすい名前を入力してください。

ここで入力した名前が3の操作の画面(「ユーザー設定」画面の「アプリケーション」タブ)に表示されます。

8 **「アプリケーション」の右側の「...」をクリックして、ソフトの実行ファイルを探し、指定する。**
Windowsのソフトは、一般にCドライブの「Program Files」フォルダの中にあります。例えば、Internet Explorerの実行ファイルは「iexplorer.exe」という名称です。

9 **ソフト起動時のパラメータを指定する場合は、「アプリケーションパラメータ」のパラメータを入力する。**
一般には、この欄は空欄にします。



アプリケーションパラメータの例
Internet Explorerを起動して、いつも同じホームページを開きたいときは、そのホームページのアドレス(例「http://121ware.com/」)を入力します。
Microsoft Wordを起動して、いつも同じファイルを開きたいときは、そのファイルのパス(例「"C:¥Users¥(あなたのアカウント名)¥Documents¥日記.docx"」)を入力します。

10 **「OK」をクリックする。**



11 **「ユーザー設定」画面の「OK」をクリックする。**

●どの指紋でどのソフトを起動するかを変える

「どの指紋でどのソフトを起動するかを登録する」（31ページ）の1～4の操作の後、変えたい組み合わせをクリックし、「編集」をクリックします。「アプリケーション」画面で、変えたい部分を変え「OK」をクリックし、「ユーザー設定」画面の「OK」をクリックします。

●指紋でソフトが起動しないようにする（組み合わせを削除する）

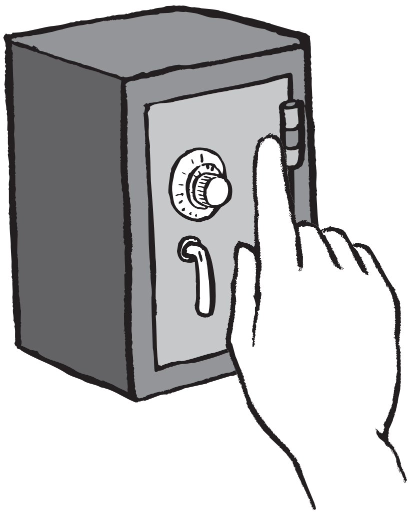
「どの指紋でどのソフトを起動するかを登録する」（31ページ）の1～4の操作の後、削除したい組み合わせをクリックし、「削除」をクリックし、「OK」をクリックします。

ファイルやフォルダを暗号化する（File Safe/ファイルセーフ）

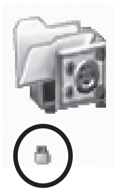
ファイルやフォルダを暗号化し、指紋を読み取らないと、それらのファイルを開けないようにできます。

ファイルやフォルダを暗号化して、暗号化アーカイブ（文書の保管庫）に格納し、指紋かパスワードを入力しないと見られないようにする機能です。指紋かパスワードでロックを解除（アンロック）すれば、通常のファイルと同じように使えます。暗号化をやめて元に戻すこともできます。

「属性」を「読み取り専用」に設定されたファイルやフォルダを暗号化したとき、暗号化をやめて元に戻すと、「読み取り専用」の設定は解除されます。

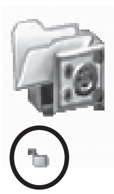


ロックされた暗号化アーカイブ



このままでは開けません。ロックを解除すると一般のファイルやフォルダと同じように使えるようになります。

ロックが解除された暗号化アーカイブ



アイコンの下部中央の錠前の絵が解錠された絵になります。

●新しい暗号化アーカイブを作ってファイルやフォルダを格納する

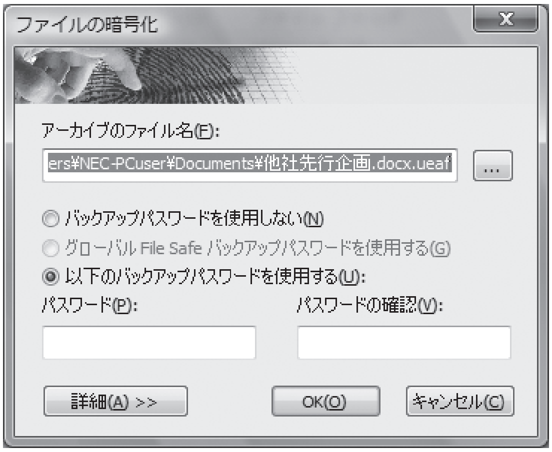
この機能を使うときは、あらかじめ、「まず、指紋を登録しよう」（10ページ）の操作を行ってください。

1 暗号化したいファイルやフォルダを右クリックし、「新しい暗号化アーカイブに追加」をクリックする。



【Shift】キーや【Ctrl】キーを押しながら選ぶと、複数のファイルやフォルダを選べます。ファイルとフォルダは一緒に選べます。

「ファイルの暗号化」画面が表示されます。



アーカイブのファイル名……ファイルやフォルダを格納する暗号化アーカイブの名前を入力する

バックアップパスワードを使用しない……指紋でしか暗号化アーカイブのアンロック(解除)ができないようにする

グローバルFile Safeバックアップパスワードを使用する……暗号化アーカイブのアンロック(解除)にグローバルバックアップパスワードを使用する

以下のバックアップパスワードを使用する……暗号化アーカイブのアンロック(解除)に使うパスワードを入力する

詳細……指紋が登録されているユーザーの中から、暗号化アーカイブをアンロック(解除)できるユーザーを選ぶ

暗号化アーカイブのパスワード

パスワードは、設定することをお勧めします。設定しないと、指のけがなどで指紋が読み取れないときに、ロックされたアーカイブを開けなくなります。

パスワードには、アーカイブごとに設定する「バックアップパスワード」と、ひとつのパスワードがすべてのアーカイブで使える「グローバルバックアップパスワード」の2種類があります。

バックアップパスワード

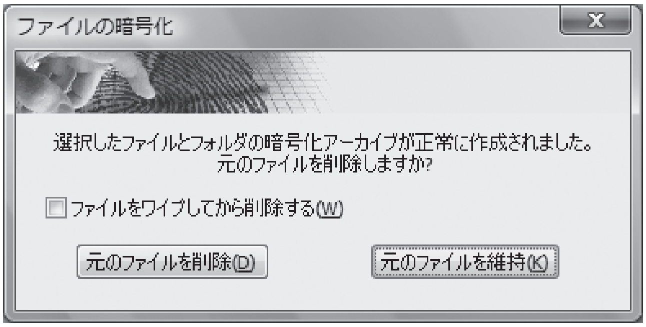
アーカイブごとに設定します。アーカイブを作ったあとで変えることもできます。→「パスワードのタイプを変える、他のユーザーのアクセスを許可する・拒否する」(40ページ)

グローバルバックアップパスワード

すべてのアーカイブに共通のパスワードです。グローバルバックアップパスワードが設定されていないときは選べません。→「グローバルバックアップパスワードを設定する、変える」(41ページ)

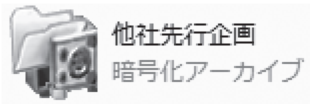
ファイルやフォルダを暗号化する
（File Safe/ファイルセーフ）

2 パスワードを入力して、「OK」をクリックする。
2か所の入力欄に同じパスワードを入力します。
「ファイルの暗号化」画面が表示されます。



ファイルをワイプしてから削除する……元のファイルは削除され、回復不可能になる
元のファイルを削除……元のファイルは削除される
元のファイルを維持……元のファイルは、暗号化されたファイルとは別にそのまま残される

3 「元のファイルを削除」か「元のファイルを維持」をクリックする。
暗号化アーカイブが作成され、選んだファイルやフォルダが暗号化されて格納されます。



暗号化したフォルダ

アーカイブの拡張子は「.uea」です。格納されているファイルが1つだけの場合は「.ueaf」になります。

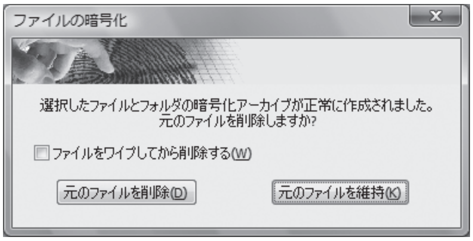
●既存の暗号化アーカイブに ファイルやフォルダを追加する

1 **暗号化したいファイルやフォルダを選んで右クリックし、表示されたメニューで「既存の暗号化アーカイブに追加」をクリックする。**
「ファイルを開く」画面が表示されます。



2 **ファイルやフォルダを追加する暗号化アーカイブを選び、「開く」をクリックする。**
「指の読み取り」画面が表示されます。

3 **指紋センサで指を読み取る。**
「ファイルの暗号化」画面が表示されます。



ファイルをワイプしてから削除する……元のファイルは、完全に削除され、回復できなくなる
元のファイルを削除……元のファイルは削除される
元のファイルを維持……元のファイルは、暗号化されたファイルとは別にそのまま残される

4 **「元のファイルを削除」か「元のファイルを維持」をクリックする。**
暗号化アーカイブに暗号化されたファイルやフォルダが追加されます。

【Shift】キーや【Ctrl】キーを押しながら選ぶと、複数のファイルやフォルダを選べます。ファイルとフォルダは一緒に選べます。

複数のファイルが格納されているアーカイブ（拡張子が「.uea」のファイル）を選べます。
ファイルひとつだけのアーカイブ（拡張子が「.ueaf」のファイル）は選べません。

●暗号化アーカイブのロック(施錠)を解除する

ロック(施錠)された暗号化アーカイブのファイルやフォルダを開けるようにします。

1 ロックを解除したい暗号化アーカイブを選んで右クリックし、表示されたメニューで「開く」か「アンロック」をクリックする。
暗号化アーカイブを作ったときの設定によって、指紋の読み取りかバックアップパスワードが必要というメッセージが表示されます。

2 指紋センサで指を読み取るか、パスワードを入力する。
暗号化アーカイブのロックが解除されます。
1で「開く」をクリックした場合、アーカイブの中にファイルがひとつしかなければ、そのファイルが起動します。

アーカイブをロックするときは、認証は必要ありません。

ロックを解除して、暗号化アーカイブの中のファイルを削除しても、暗号化アーカイブのファイルサイズは変わりません。ファイルサイズを小さくしたいときは、アーカイブの内容を普通のファイルやフォルダに戻して(39ページ)、新しいアーカイブを作りなおしてください。

●暗号化アーカイブをロック(施錠)する

暗号化アーカイブの中のファイルやフォルダを開けないようにします。

1 ロックしたい暗号化アーカイブを選んで右クリックし、「ロック」をクリックする。
暗号化アーカイブがロックされます。

●すべての暗号化アーカイブをロック(施錠)する

すべての暗号化アーカイブのファイルやフォルダを開けないようにします。

1 指紋センサで指を読み取って、表示されたメニューで「すべてのアーカイブをロック」をクリックする。
すべての暗号化アーカイブがロックされます。

●暗号化されたファイルやフォルダを普通のファイルやフォルダにもどす

1 **暗号化をやめたい暗号化アーカイブを選んで右クリックし、表示されたメニューで「解読先を指定」をクリックする。**
暗号化をやめたファイルやフォルダの保存先を指定する画面が表示されます。

2 **ファイルの保存先を選んで「OK」をクリックする。**
指紋の読み取りかバックアップパスワードが必要というメッセージが表示されます。

3 **指紋センサで指を読み取るか、パスワードを入力する。**
ファイルやフォルダが普通のファイルやフォルダになり、指定した保存先に保存されます。

4 **「アーカイブを削除」か「アーカイブを維持」をクリックする。**

暗号化アーカイブの中の一部のファイルやフォルダだけ暗号化をやめたいとき
暗号化アーカイブをダブルクリックして開き、暗号化をやめたいファイルやフォルダだけを選んでから、右クリックします。

●暗号化アーカイブのパスワードを変える、他のユーザーのアクセスを許可する・拒否する

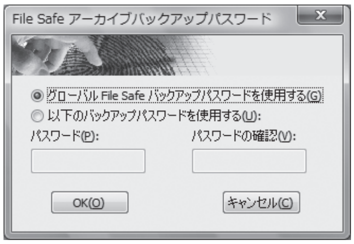
1 **設定を変えたい暗号化アーカイブを右クリックし、「プロパティ」をクリックする。**
プロパティの画面が表示されます。

2 **「File Safe」タブをクリックする。**
暗号化アーカイブがロックされているときは、「アクセスを許可するユーザー」欄が空欄になっています。「アンロック」をクリックして、指紋センサで指を読み取るか、パスワードを入力してください。



3 **パスワードの設定をして「OK」をクリックする。**
すでに設定してあるパスワードを消去するときは、**「バックアップパスワードを消去」**をクリックします。
新しいパスワードを設定したり、すでに設定してあるパスワードを変えるときは、**「バックアップパスワードを設定」**をクリックし、右の画面でパスワードの設定を行い、「OK」をクリックします。「グローバルFile Safe……」をクリックしたときは、指を読み取ります。
アクセスを許可するユーザーを変えたいときは、**「アクセスを許可するユーザー」**欄で設定します。ユーザー名をクリックすると、反転表示(アクセスを許可するユーザー)、反転でない表示(アクセスを拒否するユーザー)が切り替わります。

暗号化アーカイブのパスワード
パスワードは、設定することをお勧めします。設定しないと、指のけがなどで指紋が読み取れないときに、ロックされたアーカイブを開けなくなります。
パスワードには、アーカイブごとに設定する「バックアップパスワード」と、ひとつのパスワードがすべてのアーカイブで使える「グローバルバックアップパスワード」(41ページ)の2種類があります。



グローバルFile Safeバックアップパスワードを使用する
.暗号化アーカイブのアンロック(解除)にグローバルバックアップパスワード(41ページ)を使用します。グローバルバックアップパスワードが設定されていないときは表示されません。
以下のバックアップパスワードを使用する
暗号化アーカイブのアンロック(解除)に使うパスワードを入力します。

●グローバルバックアップパスワードを設定する、変える

すべての暗号化アーカイブに使うパスワード（グローバルバックアップパスワード）を設定したり、変更することができます。
新しく設定したり、変更したパスワードは、これ以降に暗号化アーカイブを作るとき、グローバルバックアップパスワードを選ぶと、その暗号化アーカイブのパスワードになります。すでにロックされている暗号化アーカイブを解除するときは、古いパスワードを使います。

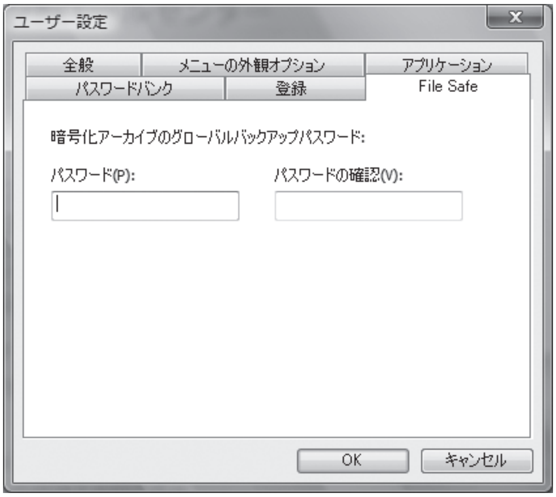
1 **「スタート」-「すべてのプログラム」-「Protector Suite QL」-「コントロールセンター」の順にクリックする。**
コントロールセンターが表示されます。

コントロールセンターは、他の方法でも開けます→6ページ

2 **「設定」-「ユーザー設定」をクリックする。**
「指の読み取り」画面が表示されます。

3 **指紋センサで指を読み取る。**
「ユーザー設定」画面が表示されます。

4 **「File Safe」タブをクリックする。**



5 **パスワードを入力するか、変更して、「OK」をクリックする。**

設定を変える

セキュリティの内容を変えたり、画面や音の設定を変えたりします。

●管理者を登録する､管理者と他のユーザーの権限を変える(セキュリティモード)

管理者ができることとその他のユーザーができることを設定します。
簡易モードでは、管理者ができることとその他のユーザーができることはまったく同じですが、保護モードでは、管理者はすべてのことができますが、その他のユーザーはパワーオンセキュリティなどの一部のことしかできません。
管理者ができることと、その他のユーザーができることを細かく指定したいときは、カスタムモードにしてください。

1 **「スタート」-「すべてのプログラム」-「Protector Suite QL」-「コントロールセンター」の順にクリックする。**
コントロールセンターが表示されます。

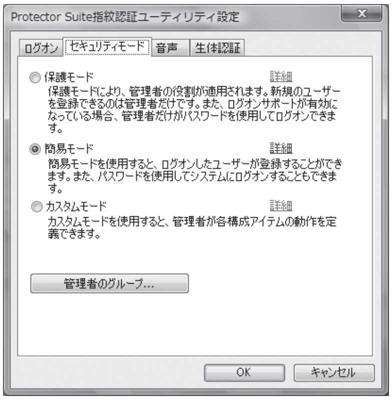
コントロールセンターは、他の方法でも開けます→6ページ

2 **「ユーザーの管理者権限の昇格」をクリックする。**
「ユーザーアカウント制御」画面が表示されます。

3 **「続行」をクリックする。**

4 **「設定」-「システム設定」をクリックする。**

5 **「セキュリティモード」タブをクリックする。**



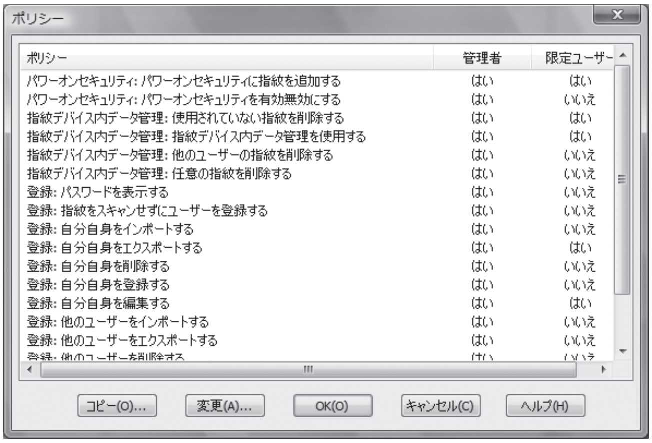
管理者に登録されているユーザーの一覧を見たいときや、管理者を増やしたり減らしたりしたいときは、「管理者のグループ」をクリックして、「ユーザーグループ」画面を表示してください。
「追加」をクリックすると、「グループの選択」画面で「詳細設定」をクリックして、追加するユーザーを指定すると、管理者に追加できます。削除するときは、ユーザーをクリックして、「削除」をクリックします。

6 設定したいモードをクリックする。

保護モード……管理者はすべての操作ができます。その他のユーザーは限られた操作しかできません。

簡易モード……誰でも同じ操作ができます。

カスタムモード……管理者ができる操作とその他のユーザーができる操作を細かく指定できます。
「カスタムモード」をクリックして、「詳細」をクリックし、「ポリシー」画面で設定を変えます。



「管理者」や「限定ユーザー」（管理者以外のユーザー）は、「はい」になっている操作ができます。「いいえ」になっている操作はできません。
設定を変えたい行をダブルクリックして、「ポリシーの詳細」画面で、「管理者」と「限定ユーザー」の「許可」（操作ができる）か「拒否」（操作ができない）を選んで「OK」をクリックします。

7 「OK」をクリックする。

それぞれのモードで管理者とその他のユーザーがなにができるかは、そのモードをクリックして、「詳細」をクリックすると表示されます。

保護モードや簡易モードの一部だけを変えた設定にしたいとき

保護モードや簡易モードの設定は変えられません。
「カスタムモード」の「詳細」をクリックして、最初に「コピー」をクリックし、「ポリシー設定のコピー」画面で「保護モードからコピー」か「簡易モードからコピー」をクリックして、「OK」をクリックします。どちらかの設定がすべてコピーされるので、変えたい部分だけ変えてください。

●指紋読み取り失敗時のロックや精度の設定

読み取りに何回失敗したら指紋センサをロックするかと、ロックを解除する時間、指紋センサの指紋の読み取り精度を設定します。
指紋センサがロックされると、解除される時間までパソコンを使えなくなります。

1 **「スタート」-「すべてのプログラム」-「Protector Suite QL」-「コントロールセンター」の順にクリックする。**
コントロールセンターが表示されます。

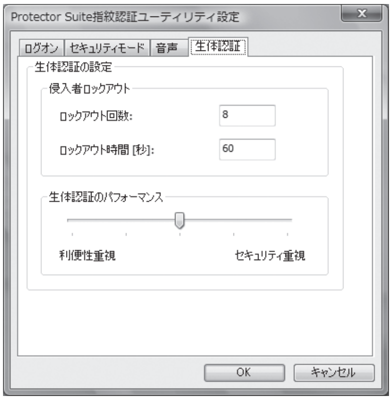
コントロールセンターは、他の方法でも開けます→6ページ

2 **「ユーザーの管理者権限の昇格」をクリックする。**
「ユーザーアカウント制御」画面が表示されます。

3 **「続行」をクリックする。**

4 **「設定」-「システム設定」をクリックする。**

5 **「生体認証」タブをクリックする。**



6 **設定して、「OK」をクリックする。**

ロックアウト回数……指定した回数、指紋の読み取りに失敗すると、指紋センサがロックされます

ロックアウト時間……ロックが解除され、再び指紋読み取りができるようになるまでの時間

生体認証のパフォーマンス……指紋サンプルとの一致の精度を設定します。
中レベルに設定しておくことをおすすめします。インストール時は、中レベルに設定されています。
最高レベルにすると登録済みの指でも認証されない場合があります。また最低レベルにすると、登録していない指が認証され、セキュリティが侵害される可能性があります。

7 **パソコンを再起動してください。**
変更するたびに、再起動してください。

●TPM管理ソフトをインストールし、TPMが使えるようにする

このパソコンには、TPM管理ソフトの「セキュリティチップ ユーティリティ」が入っています。このソフトをインストールすると、TPMが使えるようになります。Protector Suite QLと組み合わせることで高度なセキュリティを利用できます。

TPM管理ソフトのインストールは、「おすすめメニュー」-「電子マニュアル(サポートナビゲーター)」-「使いこなす」-「ソフトの紹介」-「ソフト一覧」-「セキュリティチップ ユーティリティ」の順にクリックし、「セキュリティチップ ユーティリティ」の追加方法と削除方法にしたがって、行ってください。

その後、以下のProtector Suite QLの設定を行ってください。

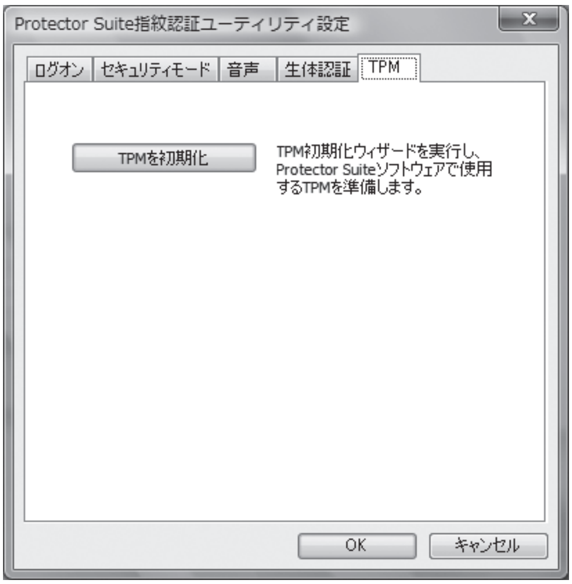
1 「スタート」-「すべてのプログラム」-「Protector Suite QL」-「コントロールセンター」の順にクリックする。
コントロールセンターが表示されます。

2 「ユーザーの管理者権限の昇格」をクリックする。
「ユーザーアカウント制御」画面が表示されます。

3 「続行」をクリックする。

4 「設定」-「システム設定」をクリックする。

5 「TPM」タブをクリックする。



TPM
(Trusted Platform Module)
パソコンに内蔵するセキュリティチップ。暗号キーなどを安全に格納できる。

コントロールセンターは、他の方法でも開けます→6ページ

6 **「TPMを初期化」をクリックする。**
TPM初期化ウィザードが表示されます。

7 **「次へ」をクリックする。**
画面の指示にしたがって操作してください。
「完了」ボタンをクリックすると操作は終了します。
TPMセキュリティが拡張セキュリティ機能に追加されます。

「コントロールセンター」-「指紋」-「指紋の登録または編集」の操作で、「拡張セキュリティ」画面の「現在の拡張セキュリティを有効にする」にチェックを入れると、「拡張セキュリティタイプ」でTPMを選べます。

●効果音を変える

指紋操作が成功したとき、失敗したときの効果音をそれぞれ変えられます。音を出ないようにすることもできます。

1 **「スタート」-「すべてのプログラム」-「Protector Suite QL」-「コントロールセンター」の順にクリックする。**
コントロールセンターが表示されます。

コントロールセンターは、他の方法でも開けます→6ページ

2 **「ユーザーの管理者権限の昇格」をクリックする。**
「ユーザーアカウント制御」画面が表示されます。

3 **「続行」をクリックする。**

4 **「設定」-「システム設定」をクリックする。**

5 **「音声」タブをクリックする。**

6 **「OK効果音」(指紋認証などに成功したときに出る音)、「NG効果音」(指紋認証などに失敗したときに出る音)を選ぶ。**

なし……音がでないようにする
システムデフォルト……既定の音声を使う
カスタム……既定の音声以外の音にするときは、WAV音声ファイルを用意し、「カスタム」を選んで、「参照」をクリックして、WAV音声ファイルの場所を指定してください

7 **「OK」をクリックする。**

●指紋デバイス内のデータを削除する

指紋センサ(バイオメトリックスデバイス)の中に指紋データが登録されているとき、(「バイオメトリックスデバイスへの登録」→12ページ)そのデータを削除できます。
指紋の削除は、指紋管理者のみに制限されている場合があります。

1 **「スタート」-「すべてのプログラム」-「Protector Suite QL」-「コントロールセンター」の順にクリックする。**
コントロールセンターが表示されます。

2 **「設定」-「指紋デバイス内データ管理」をクリックする。**
「指紋デバイス内データ管理」画面が表示されます。

3 **削除したい指紋をクリックし、「削除」をクリックする。**

4 **「OK」をクリックする。**

●Protector Suite QLを削除(アンインストール)する

パワーオンセキュリティを設定している場合は、次の操作を行う前に「パワーオンセキュリティを有効にする/無効にする」(24ページ)の操作を行って、「指紋によるパワーオンセキュリティを有効にする」の☑を☐にしてください。

1 **「スタート」-「すべてのプログラム」-「ソフトインストーラ」-「ソフトインストーラ」をクリックする。**
「ソフトインストーラ」が起動します。

2 **ソフト名「Protector Suite QL」をさがして、「削除」をクリックし、「次へ」をクリックする。**

3 **「アンインストールソフト一覧」に「Protector Suite QL」があることを確認し「次へ」をクリックする。**
「アンインストールの確認」が表示されます。

4 **「はい」をクリックする。**
「アプリケーションメンテナンス」と表示されます。

5 **削除のアイコンをクリックする。**
「アンインストール警告」と表示されます。

6 **「Protector Suite QL x.xのデータを後から使用できるように残す」か「全てのProtector Suite QL x.xのデータを削除する」を選んで、「次へ」をクリックする。**
「Protector Suite QL x.xは正常にアンインストールされました。」と表示されます。

7 **「完了」をクリックする。**

8 **再起動の確認画面が表示されたら、「はい」をクリックする。**
Windowsが再起動し、削除が完了します。

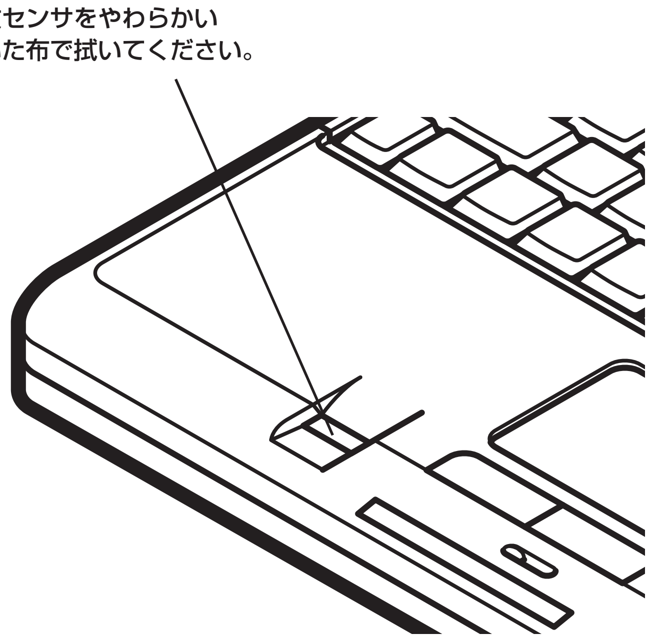
コントロールセンターは、他の方法でも開けます→6ページ

指紋や暗号化アーカイブなどの情報もいっしょに削除するときは、「全ての〜データを削除する」を選んでください。
指紋や暗号化アーカイブなどの情報を残して、アンインストール後に再度インストールしてその情報を使いたいときは、「Protector〜データを後から使用できるように残す」を選んでください。

指紋センサのお手入れ

指紋センサには指の汚れが付着することがありますので、お手入れが必要です。

やわらかい素材の乾いたきれいな布で、軽く汚れをふきとってください。



注意!

シンナーやベンジンなどの揮発性の有機溶剤や、有機溶剤を含む化学ぞうきんは使わないでください。
ボールペンなどの先のとがったものは使わないでください。

困ったときは

【インストール】

Protector Suite QLをインストールできない。

●Windowsのユーザーアカウントの権限を調べてください。
Protector Suite QLをインストールするには、パソコンの管理者権限が必要です。

●ハードディスクの空き容量が十分かどうかを調べてください。
Protector Suite QLをインストールするには、およそ50MBが必要です。

インストールしてもProtector Suite QLが起動しない。
起動後にエラーの画面が表示される。

Protector Suite QLをインストールした後で、パソコンを再起動する必要があります。

【指紋の登録】

指紋センサが機能しない。

●デスクトップ右下の通知領域の(Protector Suite QL)を右クリックしたとき、メニューに「センサーを使う」と表示されるとき
「センサーを使う」をクリックしてください。

●ドライバが無効になっている可能性があります。
「スタート」-「コンピュータ」を右クリックし、「管理」-「ユーザーアカウント制御」で「続行」をクリックして、「コンピュータの管理」-「デバイスマネージャ」で「Biometric」をダブルクリックし、「Touch Chip Fingerprint Coprocessor」を右クリックして有効にします。

●ドライバが正しくインストールされていない可能性があります。
Protector Suite QLを、データを後で使用できるように残す方法で削除(アンインストール)して(48ページ)、もう一度インストールしてください(10ページ)。

指紋を登録できない。指紋が認識されない。

●指紋チュートリアル(13ページ)で、指紋の読み取り方を確認してください。

●指紋センサへ指を押し付ける強さを変えてみてください。

●指を引く速さを変えてみてください。

●指紋センサを掃除してください。(49ページ)

●指を拭いてください。とくに、汗をかいているときは、指の汗を拭くと読み取りやすくなります。
●別の指で試してください。通常は、人差し指の方が小指よりも簡単に登録できます。

1本だけ登録している指をけがしたので、指紋認証ができない。別の指を登録するにはどうすればよいですか?

このような問題を避けるために、はじめに2本以上の指を登録しておくことをお勧めします。指紋の追加、更新→「登録した指紋を削除する、追加登録する」(19ページ)

【拡張セキュリティを使っていない場合】

Windowsのパスワードを使って「指紋の登録、または編集」を実行できます。

【拡張セキュリティを使っている場合】

バックアップパスワードを登録しているときは、バックアップパスワードで、指紋の登録や編集ができます。拡張セキュリティのタイプが「指紋リーダーのキー」か「指紋リーダーキー(TPMあり)」のときは、新しく登録した指紋と拡張キーを関連付ける必要があるので、拡張セキュリティ機能をいったん無効にしてから、「指紋の登録、または編集」画面を終了し、再度新しく登録した指を読み取って、「指紋の登録、または編集」画面で有効に設定しなおします。

バックアップパスワードを登録していないときは、別の指紋を登録する方法はありません。けがが治って指紋を読み取れるようになるまで待つか、指紋パスポートを削除して指紋を登録しなおします。ただし、指紋パスポートを削除すると、拡張セキュリティのデータや暗号化したデータなどがすべて使えなくなるので注意してください。

指紋を登録した後で、また指の読み取りを求められた。どうしてですか?

拡張セキュリティのタイプが「指紋リーダーのキー」か「指紋リーダーキー(TPMあり)」のときに、拡張セキュリティのバックアップパスワードを使って、指紋の登録や編集をしたり、新しい指紋をパスポートに追加すると、このメッセージが表示されます。この動作は正常です。新しい指紋と拡張キーを関連付けするために、この照合が必要です。

保護モード(43ページ)でユーザーを登録できない。

●指紋パスポートが存在していないか調べてください。
指紋パスポートは、ユーザーごとに1つしか作成できません。

指紋パスポートをインポートできない。

●指紋パスポートが存在していないか調べてください。
指紋パスポートをインポートするときは、まず古いパスポートを削除してください。（19ページ）
内部デバイスに指紋データを登録している場合は、「コントロールセンター」-「設定」-「指紋デバイス内データ管理」でデバイスメモリを調べてください。

拡張セキュリティのバックアップパスワードを紛失した。

「登録した指紋を削除する、指紋を追加登録する」（19ページ）にしたがって、指紋を追加登録の操作をしてください。「拡張セキュリティ」の「File Safe」画面でバックアップパスワードを変えられます。

TPMが機能しない。

TPM（17ページ）による拡張セキュリティを使っているときに、TPMが破損したり、指紋パスポートが消去されたり、無効になったりすると、拡張セキュリティは機能しなくなります。
拡張セキュリティのバックアップパスワードを設定している場合は、バックアップパスワードを使って「指紋の登録、または編集」を実行し、拡張セキュリティをいったん無効にします。TPMを修復してから、指を読み取って再び「指紋の登録、または編集」を実行し、TPMによる拡張セキュリティを有効にします。

【指紋ログオン】

ユーザー名とパスワードでログオンできない。

●セキュリティモードを調べてください(42ページ)。
保護モードになっているときは、ユーザー名とパスワードでログオンできるのは管理者のみです。簡易モードにすると、すべてのユーザーが機能を使えます。

Protector Suite QLのシステム設定が表示されているのに変更できない。

システム設定の変更を行うには、パソコンの管理者権限を昇格する必要があります。コントロールセンターの「ユーザーの管理者権限の

昇格」をクリックして、「ユーザーアカウント制御」画面で「続行」をクリックしてください。

【パスワードバンク】

Internet Explorerでページが表示されてから自動入力されるまでに時間がかかる。

自動入力は、ページが完全に読み込まれた後で行われます。
Internet Explorerでは、ページが完全に読み込まれていなくても、読み込みが終わったように表示されることがあります。この状態では、まだ自動入力は行われません。また、「中止」をクリックしても読み込みが中止されない場合があります。ページの読み込みが完了するまで待ってください。
すでに読み込まれていても、マウスポインタを画面のどこかに移動すると、さらに読み込みが始まるようになっている場合も、同じ問題が発生することがあります。完全に読み込まれるまで待ってください。

すでに登録した画面の入力内容を変えて登録しなおしたい。

【Shift】キーを押しながら指を読み取ると、自動入力は行われず、登録済みの画面でも入力内容が再登録されます。

パスワードバンクで画面を登録できない。

ユーザー名とパスワードを入力する単純で標準的な画面（ダイアログボックス）は登録できますが、複雑な画面や標準的でない画面は登録できないことがあります。Microsoft Officeの画面も登録できません。

入力内容が正しく自動入力されない。

画面が、登録時と正確に同じでないと自動入力はできません。このため、JavaScriptで動的に作成されるページや、表示が同じでも内容が異なるフォームを含むページでは、うまく自動入力できないことがあります。

索引

B **BIOS** *24*

F **File Safe** *34*

P **Protector Suite QL** *6*

T **TPM** *12, 45, 52*

U **.uea** *36*
.ueaf *36*

W **Windowsログオン** *4*

あ **アーカイブ** *34*
アプリケーションランチャー *30*
削除 *33*
登録 *31*
編集 *33*
アンインストール
Protector Suite QL *48*
暗号化 *5*
暗号化アーカイブ *34*
解除 *38*
追加 *37*
パスワード *40*
ロック *38*
アンロック(暗号化アーカイブ) *35*

い **インストール** *10, 50*
インポート(ファイルを読み込む)
指紋パスポート *21, 52*
パスワードバンク *29*

え **エクスポート(ファイルに書き出す)**
指紋パスポート *20*
パスワードバンク *29*

お **お気に入りのソフトの起動** *5*
お手入れ *49*
音声 *47*

か **解除(暗号化アーカイブ)** *35*
拡張子 *36*
拡張セキュリティ *51*
カスタムモード *43*
簡易モード *43*

き **起動時のパスワード** *24*
機密情報の暗号化 *5*

く **グローバルバックアップパスワード** *35, 40, 41*

こ **効果音** *47*
コントロールセンター *6*

さ **削除** *19*
Protector Suite QL *48*

し **自動入力** *26*
指紋
削除する *19*
追加登録する *19*
指紋センサ *2*
指紋チュートリアル *13*
指紋デバイス *12, 48*
指紋パスポート *10*
削除する *19*
作る(登録する) *10*
ファイルに書き出す(エクスポート) *20*
指紋ログオン *22, 52*
解除 *23*

す **スーパバイザパスワード** *24*
スクリーンセーバー *22*

せ **生体認証** *44*
精度 *44*
セキュリティチップ *12, 45*
セキュリティモード *42*

そ **ソフトの起動を指紋で** *30*

た **タイムアウト** *3*
対話型チュートリアル *13*

ち **チュートリアル** *13*

つ **追加登録** *19*
通知領域 *6*

て **電源** *24*

と **登録(指紋)** *10, 19, 50*
削除する *19*
ファイルに書き出す(エクスポート) *20*
ファイルを読み込む(インポート) *21*

は **ハードディスク** *12*
バイオメトリックスデバイス→指紋デバイス
バイオメトリックメニュー *6, 30*
パスワード *22, 26*
暗号化アーカイブ *40*
パスワードの自動入力 *4*
パスワードバンク *26, 53*
取り消す *28*
ファイルに書き出す(エクスポート) *29*
ファイルを読み込む(インポート) *29*
パソコンの起動を指紋でチェック *22*
バックアップパスワード *35, 40, 52*
パワーオンセキュリティ *24*

ひ **ヒント** *29*

ふ **ファイルセーフ** *34*
ファイルやフォルダを暗号化する *34*

へ **ヘルプ** *6*

ほ **ホームページのパスワード入力を指紋で** *26*
保護モード *43*
ポリシー *43*

め **メッセージ** *29*

ゆ **ユーザーアカウント** *50*
「ユーザーアカウント制御」画面 *10*
ユーザーデータのインポートまたはエクスポート *20, 21*

よ **汚れ** *49*
読み取り方 *2*

り **リプレイ** *26*

ろ **ログオン** *4*
ロック *25*
読み取り失敗時 *44*
ロックアウト回数 *44*

わ **ワイプ** *36, 37*

NEC

810601657A

初版 2007年5月
NEC
853-810601-657-A
Printed in Japan

NECパーソナルプロダクツ株式会社
〒141-0032 東京都品川区大崎一丁目11-1（ゲートシティ大崎 ウエストタワー）

このマニュアルは、再生紙(古紙率:表紙70%、本文100%)を使用しています。